

3. R5 芽室町議会実行計画評価

(1) 政策課題

(i) 総務経済常任委員会

① めむろ新嵐山（株）の検証と新嵐山スカイパーク今後のあり方について

町の財政支援は令和4年度単年度で終わる状況にはなく、町の財政支援にも限界があることから、めむろ新嵐山(株)の経営能力及び持続可能な財政運営について検証する時期にきている。さらに「公の施設としての新嵐山スカイパーク」という原点に立ち返り、町民の財産、芽室町の中心的な観光・レジャー・教育の施設として、町民の利活用はもとより、点では無く面としての役割、芽室町全域に繋がる経済循環になっているかの確認も必要である。以上のことから、町民のために必要な施設、そのあり方について調査研究することを目的とする。

② 持続可能な自治体 DX の推進について

人口減少、少子高齢化、担い手不足などが進む中、地域が抱える課題を解決する手段として自治体 DX 活用が本格化している。今年度は「芽室町 DX 推進ビジョン」策定が計画されているが、DX 推進の目的と町の将来像、町民の暮らしや行政サービスの向上、デジタルデバイドへの対応、セキュリティ対策についての確認が必要である。以上のことから、自治体 DX の推進について調査研究することを目的とする。

(ii) 厚生文教常任委員会

①小中一貫教育を含めた将来的な教育環境の整備

少子化が進む中、次世代を担う子どもたちを学校現場そして地域全体で、いかに育てていくかは喫緊の課題である。本町における教育を取り巻く諸課題についての実態把握をすすめ、小中一貫教育、令和8年度までを計画期間とする芽室町立小中学校配置計画など将来的な芽室の教育環境整備のため調査研究を進める。

進捗工程表

達成時期：R7年3月

所管委員会：総務経済常任委員会

施策（事業）名：めむろ新嵐山（株）の検証と新嵐山スカイパーク今後のあり方について

【現状】

- 新嵐山（株）は令和3年度から債務超過に陥っている。
- 町の財政支援がなければ経営が成り立たない状況である。

【目指す姿(目標)】

- めむろ新嵐山（株）の抜本的経営改善
- 町民ニーズを踏まえた活用計画改訂
- 新嵐山スカイパークによる経済循環の確立

【課題・政策】

- 出資者である町、委託者である町、受託者であるめむろ新嵐山（株）の役割と責任の明確化
- 次期指定管理者選定と新嵐山活用計画改訂の検討
- 町が出資する法人に関する直接的な議会権限の確認

[取組内容]

町民のための新嵐山スカイパークのあり方について以下の3点について調査研究を行う。

- ① 運営手法
- ② めむろ新嵐山（株）の財政状況及び経営能力
- ③ 第3セクターのリスク研究

[工程詳細]

項目	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
運営手法		→							
めむろ新嵐山（株）の財政状況及び経営能力			→						
第3セクターのリスク研究	→								

[R5年度評価] ⇒ 新規

進捗状況	令和5年7月町からめむろ新嵐山（株）の経営状況が急激に悪化しているとの報告があり、特別委員会設置は適切な対応であった。										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他	
備考	めむろ新嵐山（株）は、令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症等の影響を受け経営不振となり、令和5年10月に経営破綻し休業となった。今後の新嵐山スカイパークのあり方等は、新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会において調査を進めるため、抽出事業は終了とする。										

[R6年度評価]

進捗状況											
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他	
備考											

[R7年度評価]

進捗状況											
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他	
備考											

[R8年度評価]

進捗状況											
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他	
備考											

進捗工程表

達成時期：R7年3月

所管委員会：総務経済常任委員会

施策（事業）名：持続可能な自治体 DX の推進

【現状】

- DX の意義、目的について共通認識を図る。
- 自治体 DX の位置付けと今後の方向性

【目指す姿(目標)】

- 町民の暮らしの利便性向上
- 行政運営の効率化
- 地域課題に対応したデジタル化の推進

【課題・政策】

- 自治体 DX 推進にかかる情報管理のあり方
- デジタルデバインドへの対応

[取組内容]

自治体 DX について2点について調査研究を行う。

- ① オンラインセミナー「自治体 DX ステップ0 研修」の受講
- ② 「芽室町 DX 推進ビジョン（案）」の調査

[工程詳細]

項目	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
自治体 DX に関する研修		→							
「芽室町 DX 推進ビジョン（案）」調査		→							

[R5年度評価] ⇒ 新規

進捗状況	自治体 DX の目的について共通認識を図り、DX の目的、今後の取り組み、推進体制について調査を行った。									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	オンラインセミナーで自治体 DX の目的について共通認識を図り、「芽室町 DX 推進ビジョン（案）」の調査に臨んだ。調査では総合計画後期実施計画実現のための手段として3つのミッションを掲げ推進していくことが明確になった。DX 推進体制も構築され、住民の利便性向上、業務の効率化への道筋が確立されたことから抽出事業を完了とする。課題であるセキュリティ対策や人材育成、財政負担の軽減、共同化や広域化などの対応については適切な時期に委員会調査を実施していくものとする。									

[R6年度評価]

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R7年度評価]

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R8年度評価]

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

進捗工程表

達成時期：R 7 年 3 月

所管委員会：厚生文教常任委員会

施策（事業）名：小中一貫教育を含めた将来的な教育環境の整備

【現状】

- 町内の年間出生数が減少している
-
-

【目指す姿(目標)】

- 子どもたちの多様な学びが保障される
- 地域全体で子どもを育む体制の整備

【課題・政策】

- 年間出生数の減少により、中長期的な視点では校区なども課題となってくる
- 小中一貫教育の構築に向けて、全体ビジョンを定めていく必要がある
- 児童・生徒数減少などの物理的課題の解決のみ焦点を当てた改革や配置計画の見直しにならないよう議論を進めることが必要である

[取組内容]

- ① 現状の課題把握のための調査
 - ・現状の教育課題について委員会調査を行い、共通認識を図った。
- ② 意見聴取・交換の場を持つ（教育関係者等）
 - ・教育委員との意見交換会を開催し、「小中一貫教育」について委員会共有を図った。(3.15)
- ③ 先進事例等の調査研究
 - ・追分地区の小中一貫教育の経験から開校した「早来学園」を視察し、委員会共有を図った。(10.17)
- ④ 学習環境の整備のための調査研究
 - ・現状の教育課題について委員会調査を行い、共通認識を図った。

[工程詳細]

項目	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
実態把握・調査	→								
意見聴取・交換の場の設定	→								
先進事例等の調査研究		→							
学習環境整備の調査研究	→		→						

[R 5 年度評価] ⇒ 新規

進捗状況	先進地事務調査、委員会調査および教育委員との意見交換を開催し、小中一貫教育について共通認識を図った。									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	平成 30 年から追分地区において「分離型」小中一貫教育が開始され、胆振東部地震による早来中学校の被災を契機に一体型義務教育学校「安平町立早来学園」が開校した。本町は、義務教育学校を視野としない取組ではあるが、追分地区における小中一貫教育導入の経過について多くのことを学ぶことができた。今後も「芽室町小中一貫教育基本方針」の具現化の取組に注視し、引き続き調査を進める。 「小中一貫教育」については、教育委員との意見交換会も開催でき、有意義であった。今後も、少子化の現状をしっかりと捉え、地域全体で子どもを育む学習環境整備の調査研究を行い、課題の整理に取り組む。									

[R 6 年度評価] ⇒

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R 7 年度評価] ⇒

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R 8 年度評価] ⇒

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

